

申

竹

の

一

冊

子



竹草菴輯著  
長谷川貞信畫圖  
和田正兵衛筆工

音曲  
竹乃一節

浪華  
金隨堂梓

ドニ ーもすうのり

あくとるの風よ

お三

そ御のり月夜

うさぎのうれ

西様は 外松の縁

いよゝ

ふま

このみ

かそ

眉もあはる茶の

やも

あま

らぶく鴨の尻

がうし

うめ

これよ

まか

すま



辨文

ド二のぐらぬめい

妻房十 さきむら

たぐひお着なれ

きんおどれお

きんおどれお

きんおどれお

はるおよお

うれ名きのも  
いとやせぬ



長平

ド一

おさる

たふと

仔細め張

あはちうあ

おとあいの海にめうとる

おかどろのうきをきん

廣く強きやんけあ

のやうか

今とたぐひ

ひとくめん



まのり

玉水刺入人  
為生並示制

小や八

ドニうそ七(あびくも

お清の母

うそあゆん

えん

あつぬをんをんといひ

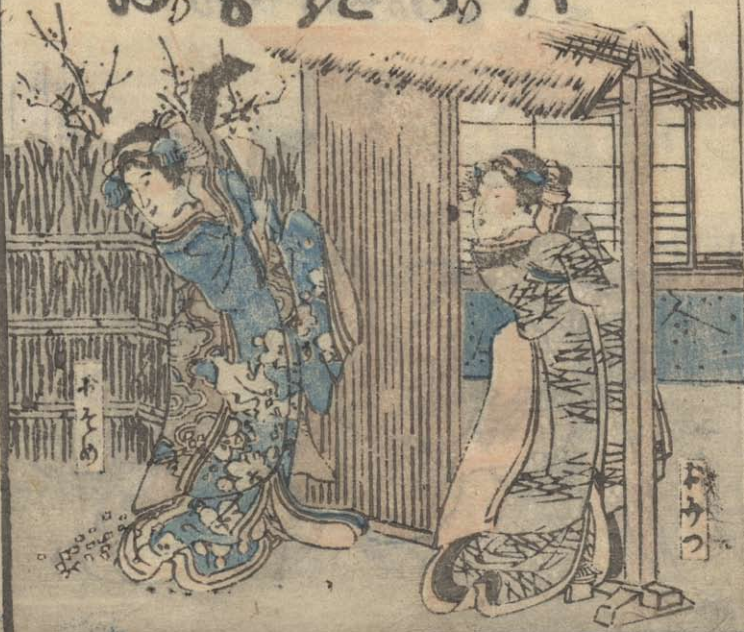
せぬてんをんをんをん

あもあつぬをんをん

あをあつぬをんをん

あもあつぬをんをん

あんのいんがへり



ドニつりのあひと

かる名山辰

ツツやゑの夜

いづれや初九の夜

雅和たどとを

をふらひはまはし

の父をたどとを

あふふらひはま

あふふらひはま

あふふらひはま



石丁丸

菊池宗門

ドニおれかよ

夕きり

あいにとらんそ

ひびんかや夕きり

かづれおきあふ

おまを奥はもの

あびのちらせぬ縁

縁ひもとをねおめ

あんとらうはぐあびる



御左門

夕きり



ドニ

人めせたやよ

ついでとられ

おまめはや

ままおぢがたをれ

とのおほほせぬま

周られおぢのおぢ

さかたはね周られ

うらんご

おぢが今はい



おそめ

おぢ

ド一ひざよあそひ

なととり

ひる揚や

おまへといふあそひ

あそびたてのあそび

うもいさるあそび

袖うそへ入るあそび

うらみづれそ

そのおもひ



浪を源を

バニあんうのんぐりう

さあや

これはゆうか

早九廿しひのめま

男てあ入るてとら

るが世にめう

もあゆくてうとを

めるあふ

今しちうたよが

あしじとあ



廿八の五編

五

ト一

ふるふのぞみち

きつ紀十

こーやるふれど

とんを敵に七持あつ

キウ ちが利をばさるさ

とつあさうとつまひ

ユニウ 敵すのえおまづら

クウキウ 多る存して

一日あしぬと  
あれん



久

光長

ド一

うそへあびくも

合邦信教

こまお中へゆえ

まじ

あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの

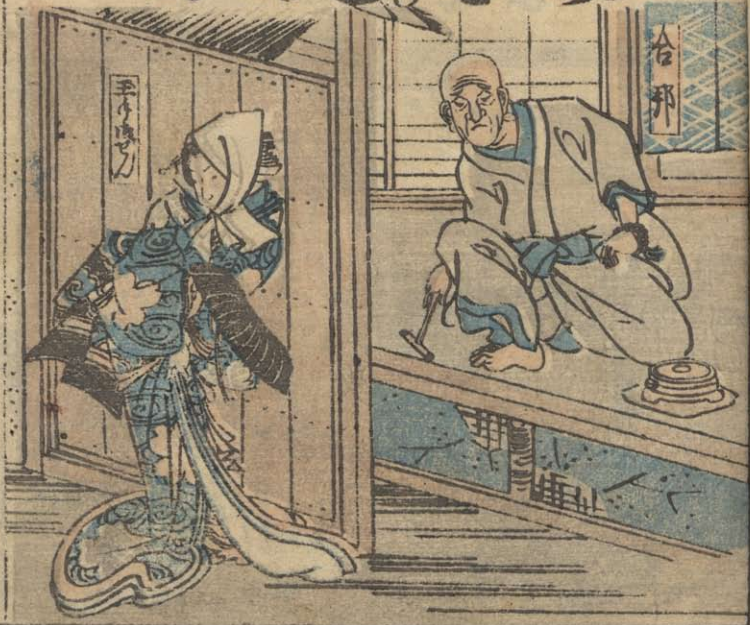
あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの

あんのいんせ

ふこそぞふな

合邦



ナハリ五編

六

ドニくろくするものも

あし  
こころのね

モウあまのきんちかぬ

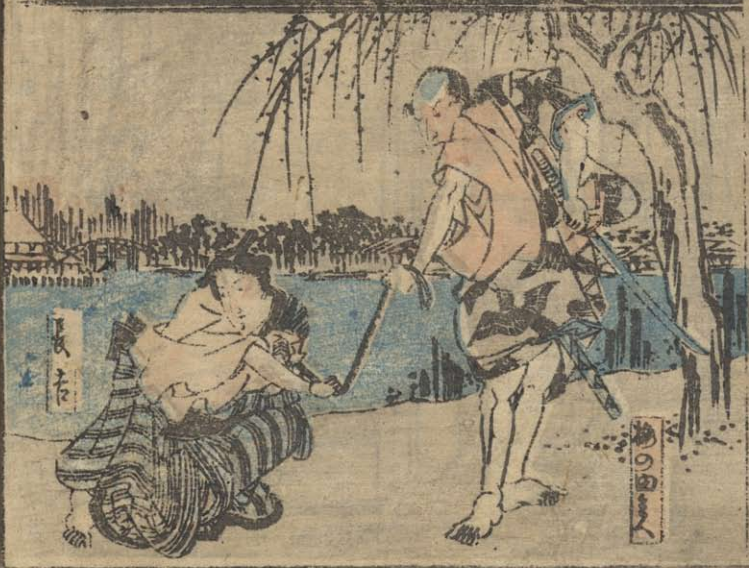
とうれがるのせむいふ

つげあまの月はえ

あまのあゝい勢な

あゝ

おのひもや  
月日ぐちうね



ド

かこあつろ

あはつろふの

楠三

ぢいふふふふふ

木をゆむふふ

竹垣のりふ

紙も味をぬ

かよふふふ

あふふふ



千々

みどり

ド一  
ロニウシタグミ

ウ、あんさやの

加賀七

タキウ  
すむの海うみのそと

エ  
たろとたれたもあ

もわやさたの

うたつく

これ思

急乃あみ





ドニク〜といそぐの

船長や 女う〜あま

どげ〜まふのせ

もぢ〜月ひ月

いつ〜ま

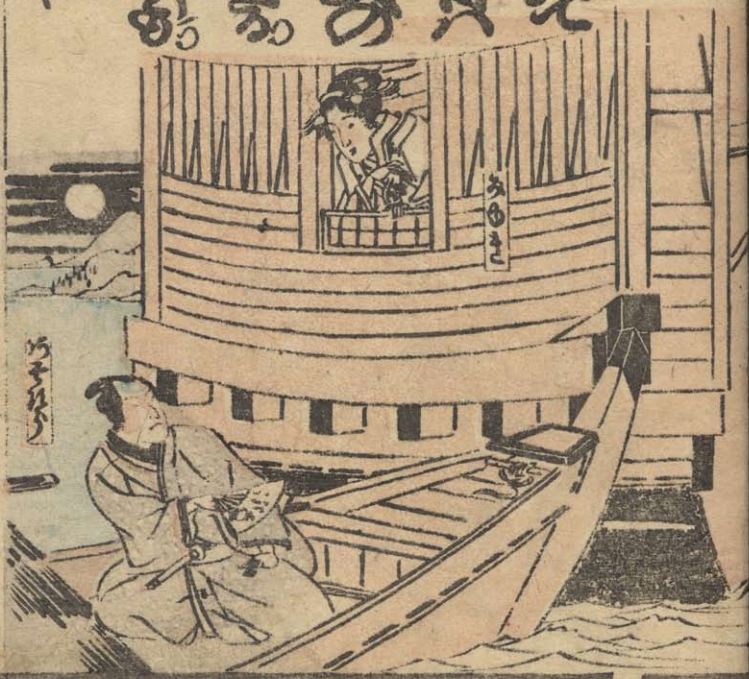
な〜あ

松浦〜あ

あ〜あ

あ〜あ

ト〜



あ〜あ

ドニ あひつめ下

夜も日も

船長渡松

梅<sup>ウメ</sup>とて<sup>ニ</sup>う<sup>ニ</sup>の<sup>ニ</sup>花<sup>ハナ</sup>が<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>る

め<sup>メ</sup>づ<sup>ズ</sup>う<sup>ウ</sup>会<sup>アイ</sup>々<sup>ゾ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>う<sup>ウ</sup>ぞ<sup>ゾ</sup>

あ<sup>ア</sup>み<sup>ミ</sup>も<sup>モ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>し<sup>シ</sup>ぶ<sup>ブ</sup>る

て<sup>テ</sup>遊<sup>ユウ</sup>ぶ<sup>ブ</sup>の<sup>ノ</sup>女<sup>メ</sup>付<sup>ツキ</sup>

せ<sup>セ</sup>う<sup>ウ</sup>れ<sup>レ</sup>そ<sup>ソ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>れ

こ<sup>コ</sup>や<sup>ヤ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>ま<sup>マ</sup>さ<sup>サ</sup>ら<sup>ラ</sup>る



み

あ

ド

甲と心々

うまうま

おめで

塙川とるまじ

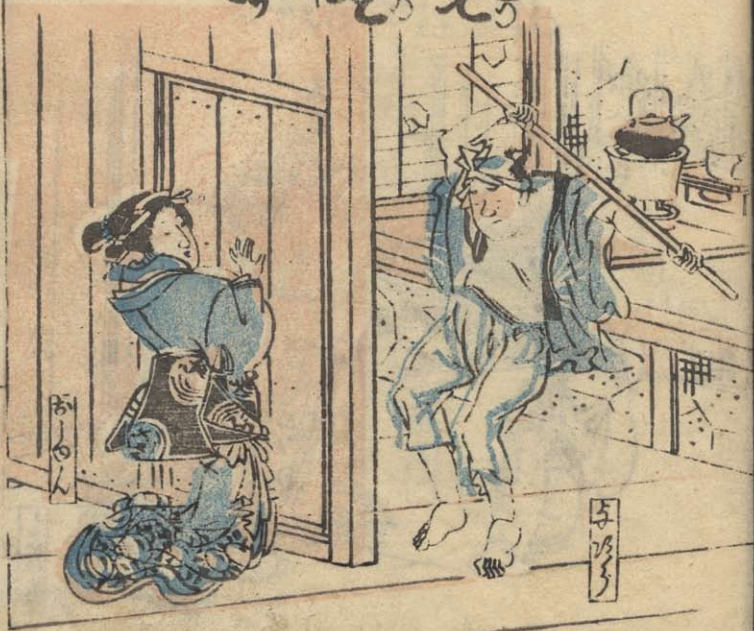
勤めかひえ

のあめりか探せ

軍に参りともなる

いふさめしそ

志のびあは



おん

5/13

ドニ

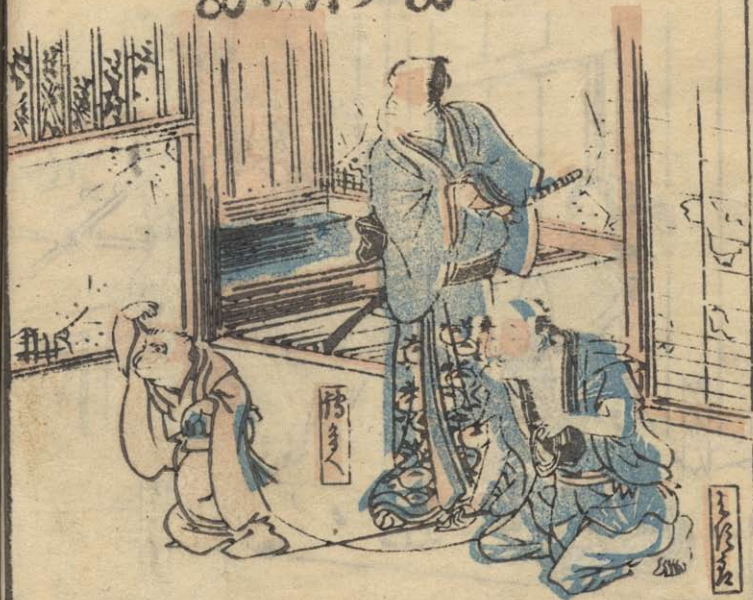
すえへらふも  
又ころふても

月かり所

サハ川  
サハ川  
サハ川  
サハ川

とくさのえさくれち

中しゆやん



五補

ド

三味せんまろこ

うさね

も

廿四孝孝口

うがたさうら

うくおも<sup>つれいずか</sup>徳<sup>あいの</sup>栄

花<sup>くさ</sup>も<sup>ゆめ</sup>後のゆめ

さふらう

かろのせら



ド一 岩戸ひらふ

くくくくくく

いよめニ

だらぬらぬ目もゆ

ふく<sup>の上</sup>あ<sup>と</sup>れ<sup>と</sup>ぬ

糸女<sup>の</sup>これか<sup>と</sup>ま<sup>り</sup>

あ<sup>の</sup>た<sup>が</sup>ひ<sup>か</sup>め<sup>り</sup>

め<sup>が</sup>ら<sup>り</sup>

糸女<sup>の</sup>あ<sup>の</sup>こ<sup>の</sup>い<sup>ふ</sup>



あま

あま

ド一せ見まのがゆへん入

せややくちうら

いせ山屋中

せすん

たのめ又ははたあまあ

かあかをもとく

あまうう屋でもあま

せれきゆでもあま

よ上帯あまうら

大群ていふあま

とけあ一疾が



お美あ

ふえ

ドニ

あさるんま

いさ十一

あさるんま  
あさるんま

引まられせゆ

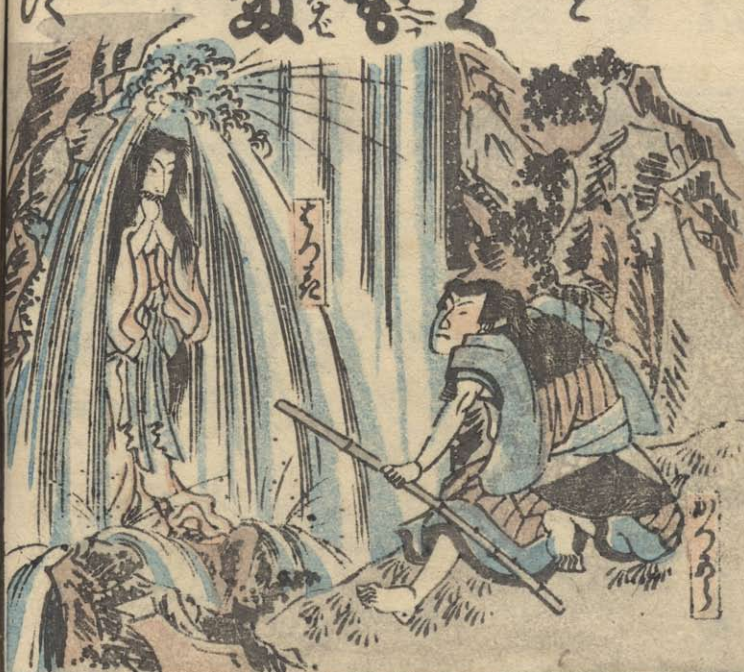
あひん送るあひも

おどろの物れぬぬ

のミ迎洗は

とうぬふすんが

うたのうた





トニ  
く強うする事も

廿四孝三申

めいふのえ

おまの孝行身

るとまがうとま

もあられぬまの家

みどごうまわ

かみはめら

いとやせ忠



よこ鹿

二

廿四孝三申

二

ド一 あやうり別きよ

愛三た防ち あやうり され

心 名跡のつじかひ

とまはあふん あひ

ありん あひ あひ

ち あひ あひ

中や あひ あひ

あひ あひ



ドニ

あつらひ

おぼえ

おぼえ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ



かへり

十三

セノトヨ

ドニありぬむうと

幸核さる くちうのせせめん

祇がひうけまうち

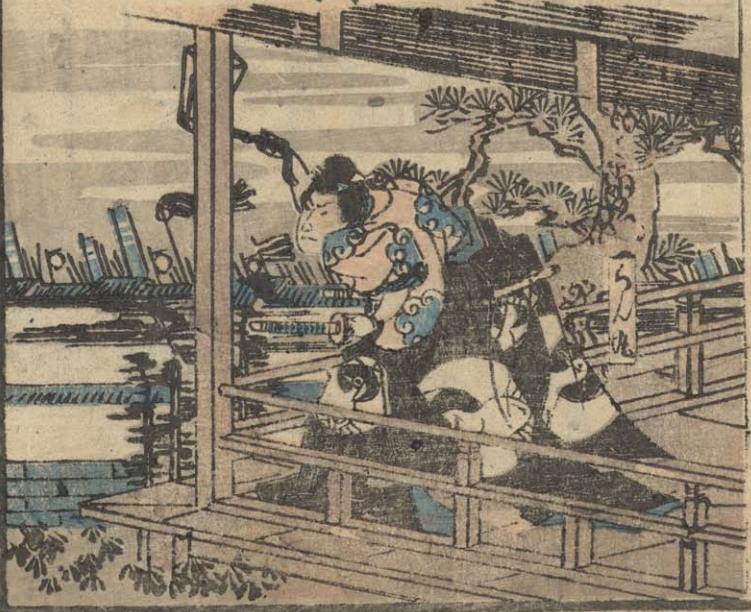
きの及も香もわ

かたより親音松神

きまへの揃ひ下程

おは嬉しきお花

う月よありみちの  
いちちうう



どーせふくろめて

ふいふとゆふけ

志強ち

どーとの内もなま

ぐらぬうなまを殺

ともちうごわちあ

ゆりにも徒士着

こころ

川といふ字又

秘くくると



内元

源をちり

西きり

十六

一〇

ド

カキムわひさ

大襲れ肉よ

い島山竹差

ちあつとねま

のふさふさ

まどろとひ

服及あるむ

ありをそくめ

たふさご



おあつと

ふう七

ドニろりがのあつま

いそいそやうは  
うんちんち

楠三

あつたのどろりつとほ

あつたのどろりつとほ

あつたのどろりつとほ

あつたのどろりつとほ

あつたのどろりつとほ

つらふはせれ  
くりすまね



おさ

ド一お中へは引くえ

つこしーがくろう

千本三

上 <sup>ふか</sup> <sup>千</sup> <sup>中</sup> <sup>へ</sup> <sup>は</sup> <sup>い</sup> <sup>ち</sup> <sup>の</sup> <sup>か</sup> <sup>の</sup> <sup>金</sup> <sup>の</sup> <sup>身</sup> <sup>の</sup> <sup>海</sup> <sup>の</sup> <sup>真</sup>

又のウ <sup>エ</sup> <sup>レ</sup> <sup>教</sup> <sup>の</sup> <sup>方</sup> <sup>も</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup>

え <sup>レ</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup>

又のウ <sup>エ</sup> <sup>レ</sup> <sup>教</sup> <sup>の</sup> <sup>方</sup> <sup>も</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup>

あ <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup>

あ <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup>

あ <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup> <sup>の</sup> <sup>あ</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup>



花京平三

徳次郎



懐柳花  
上うんや

あへはうれい

うほろろれど

さむやまにまう

におびうれまの

いばたみまじし

あつちうか

こころあへ

ぐちよなる



無名丸

付後

ナリ五編

ナリ

ドニ  
ふさまづさ

白はや  
種くそでへ

そと私ぐんての天邪

らへたうは梅とてす

るをそまがうはゆめ

婿いありの二重も二重

もせの世うけそ

くさくさびすび  
あんね系

もや帳

猪国、まゆかき



先八

おこ虫

# 和漢書物類品

## 當用物

百人首字の明文章類  
業功記廣利并性未也  
古快揚國の好奉代元  
中身一さの仕人信堂人

再板

## 津多本

七行九行及び  
四行六行五行  
中身一さの仕人信堂人

## 繪本類

撫上り並に近敷百板  
巾を吹雪子外留合巻  
則流行柄板奉り也

江戸

## 錦繪類

大坂

極上り並にわん中  
大小男女名重柄洋也  
古巻改め仕人の所

中身一さの仕人信堂人  
福幸道中州製也  
中身一さの仕人信堂人  
中身一さの仕人信堂人

## 書物問屋

大坂わちりの市場  
心也一様明角

## 綿屋徳太帛版

## 綿屋喜兵衛版

